

施策評価シート

幹事部局

健康福祉部

施策の名称	II-1-(1) 結婚への支援
施策の目的	結婚や家庭についての若い世代の理解と関心を高めるとともに、多様な出会いの場を増やすことで結婚を望む男女の希望をかなえます。
施策の現状 に対する評価	<p>①(市町村における結婚支援への取組の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村への結婚支援員・結婚支援相談員の配置支援により、縁結びボランティア「はぴこ」の活動支援、自ら相手探しができるコンピュータマッチングシステム「しまコ」端末の市町村への設置を進めている。 令和2年度末時点で、結婚支援員・相談員の配置は7市町に、「しまコ」端末設置は12市町に増加したが、全市町村には至っていない。 <p>②(相談・マッチング機能の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響により、「はぴこ」が設定する引き合わせ件数は、令和元年度の2,079件から令和2年度は1,532件に減少したが、「はぴこ」による婚姻数は前年度並みの70組と、「はぴこ」活動が重要な支援策となっている(「しまコ」等を含む婚姻数は75組)。 「しまコ」は、安全性や信頼性担保の観点から登録情報の閲覧場所等を限定していることや、その認知度が低いことなどにより、新規登録者数が伸び悩んでいる。 県外在住の島根県出身者などの県内への転入や移住を促進するため、県外在住者向け出会い創出イベントをオンラインで開催し、出会いの場の創出につながった。 <p>③(啓発活動・情報発信の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代を担う子どもや若者に向け、結婚・妊娠・出産・子育てに関する知識を得たり、自らの人生設計を考えるための講座を小学校から大学まで163回開催し、参加した児童・生徒、学校関係者等からは「将来子どもがほしい」「継続して開催してほしい」などの反響がある。 高校・大学等においては、啓発活動が十分にできていない。 <p>(前年度の評価後に見直した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「しまコ」の会員登録者数の増に向け、登録料を期間限定で引き下げた。
今後の取組 の方向性	<p>①(市町村における結婚支援への取組の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> 結婚を望む県民だれもが、結婚支援サービスを気軽に活用できるよう、市町村における相談・支援体制の確立に向けた支援や、他の取組事例紹介などの働きかけを行い、これまで県やしまね縁結びサポートセンターが取り組んできた結婚支援サービスの全県展開を進めていく。 <p>②(相談・マッチング機能の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> しまね縁結びサポートセンターにおいて、「はぴこ」の活動支援を行う。また、「しまコ」については、閲覧等のリモート化など利便性向上の検討を進めるとともに、その強みについてSNSを活用した積極的なPRに取り組み、会員登録者数の増、閲覧対応の充実化を図る。 定住施策と連携して県外在住者にイベント、マッチング機会を提供することにより、県内への転入や移住促進にもつながる結婚支援に取り組んでいく。 <p>③(啓発活動・情報発信の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもや若者に向け、必要な知識を得たり、人生設計を考えるための講座などを実施し、学校教育などと連携して、結婚や家庭についての理解と関心を高めていく。 高校・大学等での講座開催回数が増えるよう、働きかけていく。 結婚・妊娠・出産・子育てに関する情報を、利用者目線でわかりやすく一元的に発信していく。

事務事業の一覧

施策の名称		Ⅱ-1-(1) 結婚への支援				
	事務事業の名称	目的		前年度の 事業費 (千円)	今年度の 事業費 (千円)	所管課名
		誰(何)を対象として	どういう状態を目指すのか			
1	結婚支援事業	結婚を願う独身男女	結婚を願う独身男女の出会いの機会を増やし、結婚の可能性を高める	96224	149225	子ども・子育て支援課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課 子ども・子育て支援課

事務事業の名称		結婚支援事業			
目的	誰(何)を対象として	結婚を願う独身男女	事業費 (千円)	昨年度の実績額	今年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	結婚を願う独身男女の出会いの機会を増やし、結婚の可能性を高める		96,224	149,225
今年度の取組内容	・しまね縁結びサポートセンター(縁サポ)を通じ、出会いの場づくりを行う縁結びボランティア「はびこ」の活動支援、自ら相手探しができるコンピューターマッチングシステム「しまこ」サービスの提供、出会い創出イベント・セミナーの実施・経費助成・情報発信などを一元的に実施 ・市町村に結婚支援員・結婚支援相談員を配置するための交付金により、市町村の結婚支援体制を強化 ・定住施策と連携した県外在住者向け出会い創出イベントの実施・情報発信 ・家族の意義や命の大切さ、妊娠・出産などの医学的知識やライフプラン設計など、小・中・高校・大学等での講座を開催 ・コンピューターマッチングシステム「しまこ」の登録料を期間限定で引き下げ、また、その強みが独身男女に届くようSNSなどを活用した広報の強化を実施				
昨年度に行った評価を踏まえて見直したこと	・コンピューターマッチングシステム「しまこ」の登録料を期間限定で引き下げ、また、その強みが独身男女に届くようSNSなどを活用した広報の強化を実施				
1	上位の施策	Ⅱ-1-(1) 結婚への支援	3	上位の施策	
2	上位の施策	Ⅳ-3-(2) 安心して家庭や仕事に取り組むことができる環境づくり	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	しまね縁結びサポートセンターを通じた婚姻数(R2からの累計)【当該年度4月～3月】	目標値		75.0	150.0	225.0	300.0	375.0	組	累計値
		実績値	(単年度78)	75.0						
		達成率	—	100.0	—	—	—	—		
2	結婚を希望する「はびこ」の利用申込者及び「しまこ」の会員の人数【当該年度3月時点】	目標値		1,800.0	2,000.0	2,050.0	2,100.0	2,150.0	人	累計値
		実績値	1,873.0	1,904.0						
		達成率	—	105.8	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		・県内婚姻件数の推移 平成29年:2,662組 平成30年:2,672組 令和元年度:2,625組 令和2年:2,398組 ・「はびこ」が設定するお引き合わせ件数 平成30年度:2,142件 令和元年度:2,079件 令和2年度:1,532件 ・「はびこ」活動に伴う交際件数の推移 平成30年度:536件 令和元年度:563件 令和2年度:403件 ・「しまこ」会員数(平成30年12月開始) 平成30年度末:239人 令和元年度:425人 令和2年度:527人 ・「しまこ」によるお引き合わせ件数 平成30年度:51組 令和元年度:195組 令和2年度:204組 ・学校での講座開催回数 令和2年度:163回(うち高校:12回 大学:1回)								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・「はびこ」が設定する引き合わせ件数は、令和元年度の2,079件から令和2年度は1,532件に、交際件数は令和元年度の563件から令和2年度は403件に減少したが、令和2年度の婚姻数は70組を達成(令和元年度の74組とほぼ同水準) ・平成30年12月に開始した「しまこ」の会員数は、令和2年度末に527人となり、連携を図っている鳥取県と同様のシステム登録者のうちしまこ連携希望者559人とあわせ、これまでなかった出会いの機会を提供しており、婚姻数も4組発生 ・令和2年度末時点で、結婚支援員・相談員の配置は7市町に、コンピューターマッチングシステム「しまこ」端末の設置は12市町となった
課題分析	① 課題	ア)結婚を希望する独身男女が、結婚支援サービスを身近なものとして気軽に活用できる状態とはいえない イ)「しまこ」会員の新規登録者数が伸び悩んでいる ウ)結婚を希望する登録者数は、男性が女性より多く、男女比のバランスがとれていないためマッチングが難しい エ)子どもや学生が、妊娠・出産・子育ての正しい理解を得たり、結婚など自らの将来を考える機会が特に高校・大学等で不足している
	② 原因	ア)縁サポの設置場所が、松江市と浜田市の県内2か所に限られている イ)「しまこ」の会員登録手続きや閲覧場所の限定などの不便さが、登録にあたってネックとなっている可能性がある ウ)県の人口の社会移動をみると、男性より女性が多く県外転出している エ)高校・大学等での講座の意義に対する理解や、開催に向けた働きかけが不足している
	③ 方向性	ア)結婚を望む県民だれもが、結婚支援サービスを気軽に活用できるよう、全市町村において相談・支援体制を確保し、これまで県や縁サポが取り組んできた結婚支援サービスの全県展開に取り組み、相談・マッチング機能の充実を図る イ)「しまこ」閲覧等のリモート化など利便性向上の検討を進めるとともに、その強みについてSNSを活用した積極的なPRに取組み、会員登録者数の増、閲覧対応の充実化を図る ウ)県外在住者へのイベント、マッチング機会の提供等により、定住施策と連携して県内への転入や移住促進とあわせて取り組む エ)開催が低調な高校・大学等を中心に、小・中・高校での助産師による出前講座や、高校・大学等での人生設計講座の開催回数を増やし、学校教育などと連携して、結婚や家庭についての理解と関心を高めていく

